

第18回
情報処理センター等担当者技術研究会 開催



9月7日(木)、8日(金)、「情報処理センター等担当者技術研究会」が金沢大学で開催されました。本研究会は今年で18回目を迎え、北は北海道から、南は九州最南端まで33校、60名余りの参加がありました。研究会では21件の研究発表及び現状報告が行われ、各センターにおけるシステムの特徴や抱えている問題点等について活発な討論が行われました。また、これからの情報処理センターのあるべき姿について時間終了まで熱心な議論が交わされました。

・総合メディア基盤センターのシステムが新しくなります・

2007年3月より、総合メディア基盤センターのコンピュータシステムが新しくなります。計算サーバ(現、PRIMEPOWER1000)、実習室のパソコン、一部のネットワーク系サーバが対象です。主に更新されるのは、以下の事柄です。

アカウント統合管理システムの導入

一人のユーザが持つ複数のアカウント^{*1}に対して、パスワード変更等がWebブラウザから一括して行えるようになります。

パソコン環境の改善

実習用パソコンの性能が、大幅に上がります。ディスプレイサイズも17インチとなり、解像度が1280×1024ピクセルとなります。

各種サーバの更新

Webサーバ、メールサーバ、DNSサーバ等、各種サーバ機がより高性能なものに更新され、ネットワークの安定性が向上します。

^{*1} 総合メディア基盤センターで管理するアカウントのみ対象となります。

— 主なユーザ向けシステムの概要 —

計算サーバ (SunFire V890) :

CPU: UltraSPARC IV+ 1.5GHz × 8, メモリ容量: 32GB

ファイルシステム :

実効容量: 22TB

(ユーザ領域+バックアップ領域) × 2 (冗長構成)

実習室パソコン :

CPU: Intel Pentium4 3.4GHz, メモリ容量: 1GB

画面解像度: 1280 × 1024, OS: Microsoft WindowsXP SP2, Vine Linux

主な Windows アプリケーション^{*} :

Microsoft Office XP, Microsoft Visual Studio

Adobe Creative Suite2, IBM Homepage Builder

MATLAB, SPSS

^{*} 一部の実習室にのみ導入されるものを含みます。

K.U.-I.M.C.
INFORMATION MEDIA CENTER OF KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学 総合メディア基盤センター
Information Media Center of Kanazawa University

〒920-1192 石川県金沢市角間町
Tel: 076-234-6910 Fax: 076-234-6918
e-mail: jimu@imc.kanazawa-u.ac.jp
URL: http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp

info. Core **No. 05**
PRESS

2006

10

October

CONTENTS :

第18回
情報処理センター等担当者技術研究会 開催

総合メディア基盤センターのシステムが新しくなります

■ 部門 報告 ■

アカンサポータルを使ってみませんか?

情報教育部門

連載 (第4回) Excel からデータベースへ

学術情報部門

学外からの KAINS 利用 (VPN)

情報基盤部門

金沢大学総合メディア基盤センター
情報誌

情報教育部門

■ アカンサスポータルを使ってみませんか？

情報教育部門では、学習管理システム (LMS) として **WebClass** を導入しており、平成 16 年度 10 月より「IT 教育推進プログラム」を立ち上げ全学的な取り組みを開始し、積極的な活用を実施してきました。また、平成 18 年度新入生の携帯型パソコン必携化に備え、大学内の共通教育棟、生協食堂、図書館などに無線 LAN 設備を拡充しました。これらによって、学生はいつでもどこでもインターネットを使える環境が整いました。同時に、アカンサスポータルを立ち上げ、大学院生を含む全学生、全教員を登録し、掲示板、メッセージ機能を利用し手軽に学生・教員間の双方向コミュニケーションを実現しています。それらに加えて、学習管理システムとの連携により教材配布、簡易テストの実施、レポート提出、予習・復習用授業解説なども可能となっています。さらに、個人情報保護法施行後は、学生の呼び出し掲示、成績の掲示などが難しい状況がありますが、アカンサスポータルのメッセージ機能や学生カルテ機能を利用すれば問題ありません。

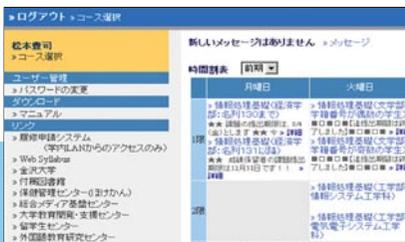
実践例紹介

(理系 K 先生)

- 一般科目、文系対象で 250 名の受講生、必携 PC を前提とした授業
- 授業ではパワーポイント資料を WebClass で配布、プリントを一切配布しない。
- 出席確認が携帯や PC で出来るため省力化ができ、これが一番よかった。

お問い合わせ・・・

IT 教育実施委員会事務局 森 祥寛
tel : 076-264-6079
総合メディア基盤センター 松本豊司
tel : 076-234-6913



学術情報部門

連載 (第 4 回) Excel からデータベースへ

Part 2 データベースの活用

データベースの活用例 その 1

今回は、データベース (以下、DB) システムの活用例・その 1 として、当部門開発の「e-Learning 素材データベース」システムを紹介します。

e-Learning 素材データベース

本システムは、本学教職員が作成した e-Learning 用素材を蓄積し、検索・利用可能とする DB システムとして開発されました。特徴は、教材とその構成要素となる多様な素材を、すべて素材として一元管理できること、また個々の素材の著作権情報なども管理できることです。

本システムは 3 つのサーバで構成されますが (図上)、利用者からは DB サーバと素材サーバは直接見えず、すべて Web ブラウザを通じた利用となります。本システムの機能概要を図下に示します。DB 部は素材 DB (素材情報) とユーザ DB (ユーザ情報) で構成されます。ユーザインターフェイスは Web ブラウザから本システムを利用するための仕組みで、一般利用者用の素材検索機能と、システム管理者が利用する素材管理機能とユーザ管理機能があります。素材検索機能は学内向けに公開され、下記 URL から利用できます。

e-Learning 素材データベース

<http://www-el.el.kanazawa-u.ac.jp/>

- 次回も引き続き、データベースの活用例を紹介します。

第 6 回 金沢大学データベースフォーラム (2006. 9. 4)

今回は、学内の各種情報の電子化・データベース化をテーマに情報通信研究機構 (NICT) 電磁波計測研究センターの石井守氏による「地球観測データを取り巻く現状」と題する招待講演をはじめ、計 7 件の講演が行なわれ、活発な意見交換が行なわれました。

<http://www-db.gipc.kanazawa-u.ac.jp/db-ken/>

情報基盤部門

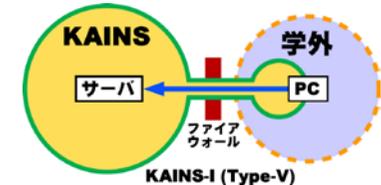
■ 学外からの KAINS 利用 (VPN)

様々なシステムの電子化が進み、ネットワークのより高い可用性に対する需要が増えてきており、重要なサービスの多くは学内からのアクセスしか受け付けなくなっています。

総合メディア基盤センターでは、こういった学内専用サービスを、ユーザ認証と暗号化通信により学外から安全に利用できる手段として、VPN (仮想プライベートネットワーク) 接続を提供しています。

■ 本学教職員・学生用

VPN 接続の方法には、1) PC にクライアントソフト (SecuRemote) をインストールする方法と、2) 2006 年 4 月号で紹介した **Web ブラウザから手続きを行う方法 (FirePass)** があります。学外でインターネット接続した PC から VPN 接続を行うと、その PC は学内ネットワーク (KAINS) に接続されたのと同じ様に使うことができ、サーバから見えるアクセス元の IP アドレスも KAINS のものとなります。利用には、ユーザアカウントが必要です。



詳細は... > <http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp/kains/vpn.htm>

■ 学外者用

業者にサーバ等のメンテナンス作業をさせる場合などに利用できる VPN 接続です。対学外ファイアウォールは通過しますが、サーバへのアクセスは学外の IP アドレスからとなり、学内専用サービス等を不正利用される心配がありません。

詳細については、総合メディア基盤センターまでお問い合わせ下さい。

